



資料編

城山地区の概要

宇都宮市の北西部に広がる城山地区は、昭和 29 年の町村合併により宇都宮市に編入され、現在に至っている。

地場産業である大谷石産業は、明治以後、交通機関の発達とともに販路が拡大した。帝国ホテルの建築に利用され、関東大震災時においてその優れた耐震性・耐久性が証明されたことにより、大幅に採掘量が拡大した。戦後も復興用材として利用され、昭和 30 年代には機械化されたことなどで、手掘り時代には開採不可能といわれていた区域まで採掘が進んだ。近年、採掘場跡地の陥没事故が相次ぎ、また、建築用材などの利用の低迷などからその生産量は減少している。しかしながら、造園や園芸に関する新商品開発など、新たな用途を広げている。

城山地区は農業も盛んで、地区の特産品であるナシ・トマト・梅・栗などの果樹を筆頭に、トウモロコシ・サトイモなどの畑作・豚・乳牛・養鶏などは宇都宮市における農業の振興に大きな役割を担っている。

また、豊かな自然環境や観光資源にも恵まれており、宇都宮市を代表する観光・レクリエーション地域として発展している。古賀志山・戸室山そして頂上（御殿平）の樹木を伐採し関東平野を一望にした多気山をはじめとする優れた自然景観や大谷観音・多気不動尊、そして全域が天険の地形を生かした山城だったという多気山城跡、市制 90 周年記念事業で整備された森林公園など、憩いと安らぎ、自然の中のスポーツ・レクリエーション拠点のひとつとなっている。

昭和 40 年代に入ると西の宮地区で大規模な住宅団地の開発が始まり、また、ニュータウン駒生、城西ニュータウンなどの新たな宅地造成も進められ、大谷街道や外環状線の整備などと相まって、住宅地的な要素が一層強くなっている。

当地区では、地域の振興と活性化のため発足した城山地区コミュニティ協議会を中心にして地域が一体となって、毎年体育祭や文化祭・農業祭、城山クリーンアップなどを開催しているほか、地元有志がホームページの開設・運営を手がけるなど住民の手による地域振興のための事業が活発に行われている。

当地区は、宇都宮市を代表する観光・レクリエーション地域、農林業地域として、豊かな自然環境の保全・整備を図るとともに、廃坑を活用したカヤッククルージングや、大谷石を石灯籠に見立てた大谷石夢あかり、また森林公園周回コースに展開するアジア最大級の自転車レースジャパンカップサイクルロードレース、さらに大谷の魅力を自ら体験できるフェスタ in 大谷、はたまた 4 百有余年の時を経て、今もなお古賀志の里に春の訪れを告げる城山西小学校のシダレザクラ（孝子桜）、そして夏イチゴなどの新たな取り組みが定着、大谷街道の拡幅やスマート IC 新設などの交通網整備などにより、発展と賑わいが期待できる将来性のある地区である。

城山地区の数値あれこれ

- ① 面積 39.44 km²（上河内、河内、清原地区に準じる大きさ）
- ② 人口 9,522 世帯・23,412 人（平成 26 年 12 月末現在）人口比率 4.49%
- ③ 農地面積 782ha（水田 534ha 68%・畑 135ha 17%・樹園地 113ha 15%）
（樹園地面積 宇都宮市最大）

④ 大谷石

	出荷高(億円)	生産量(トン)	掘業者数(社)	従業員数(人)
昭和49年	92	875,000	103	1,744
平成26年	3.4	13,500	9	130

- ⑤ 観光 観光客 約 111 万人（平成 23 年）・183 万人（平成 9 年）

⑥ 宿泊・飲食業

	城山地区	占有率	宇都宮市
事業者数	52軒	1.7%	3,143軒
従業者数	328人	1.4%	24,123人

⑦ 人口推計

<約40年後> (人)

	人口推計	65歳以上	左の内85歳以上
平成26年	23,412	5,620	713
平成62年	約 20,000	約 8,000	約 1,600

（人口の将来推計） （約3千人減） （約4割に） （推計値グラフより）

⑧ 「城山村」の誕生

明治 22 年 旧 7 か村<荒針・田野・田下・駒生・飯田・古賀志・福岡>が合併。

（その後、昭和 29 年の再度の市町村合併により宇都宮市に編入されたことは前述の通り。）

データ出典：①統計データからみる城山地区

うつのみや市政研究センター編

②城山地区のプロフィール

宇都宮市編纂

城山地域ビジョン アンケート調査結果【概要】

1 調査の概要

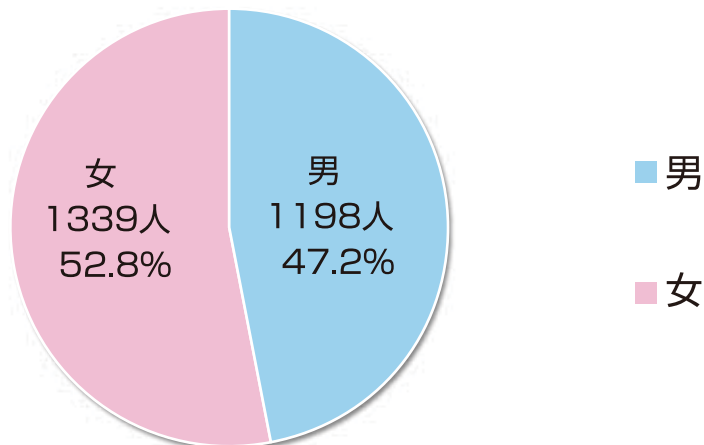
【回答者数】

・配布数：4,318件 ・回答数：2,625件 ・回収率：60.8%

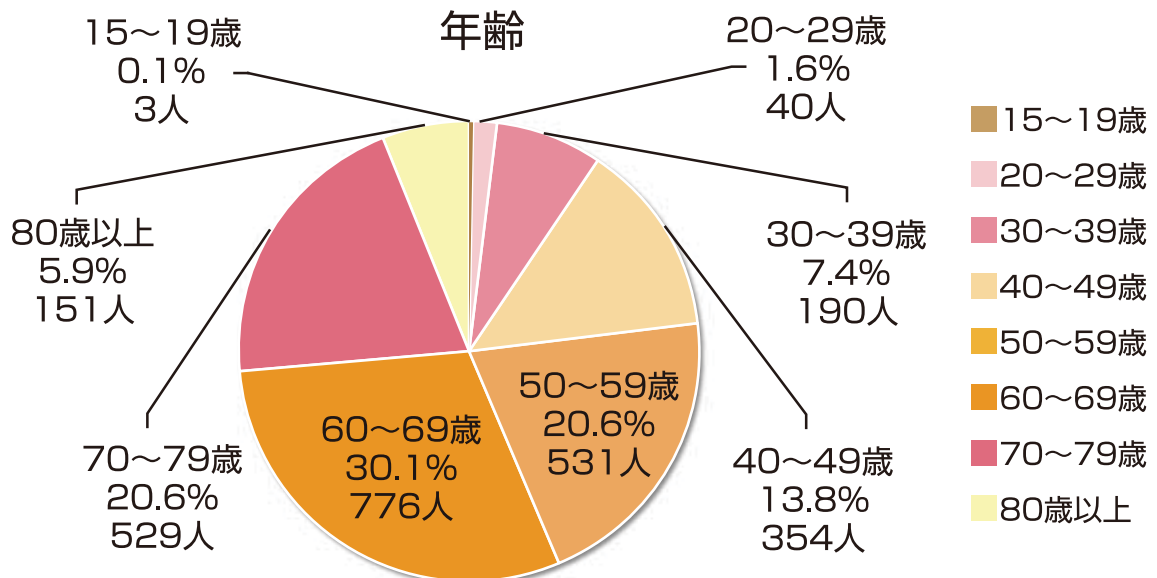
【回答者属性】（有効回答者分）

- ・回答者の性別は、「男性」1,198名（47.2%）、「女性」1,339名（52.8%）と女性の回答者が若干多いが、男女がほぼ半数の割合となっています。
- ・年齢については、「60代」が776名（30.1%）、「70代」が529名（20.6%）と60代以上の方が半数を占めています。

性別

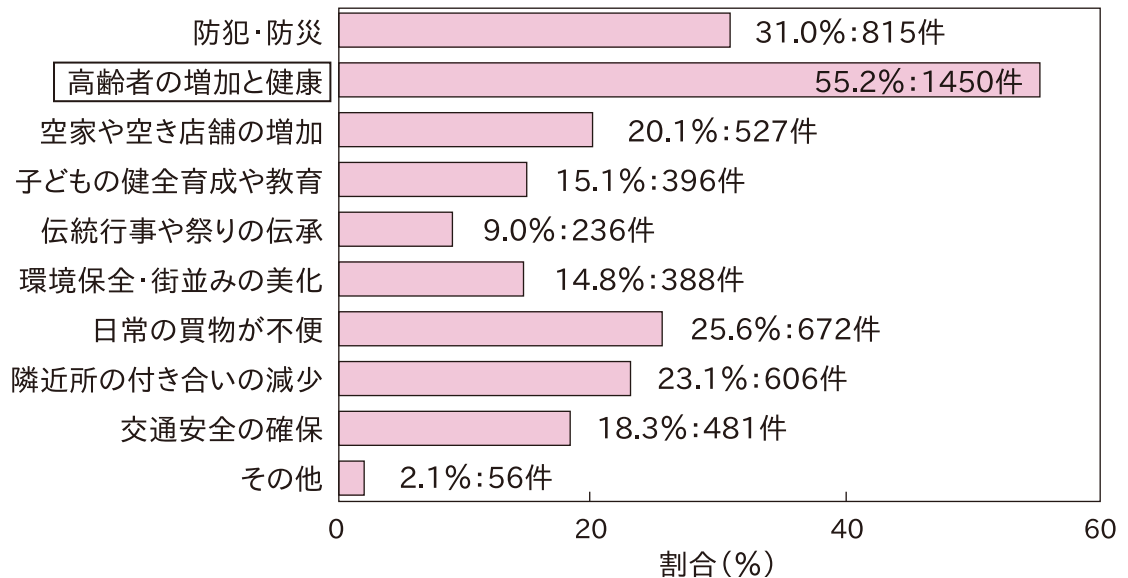


年齢

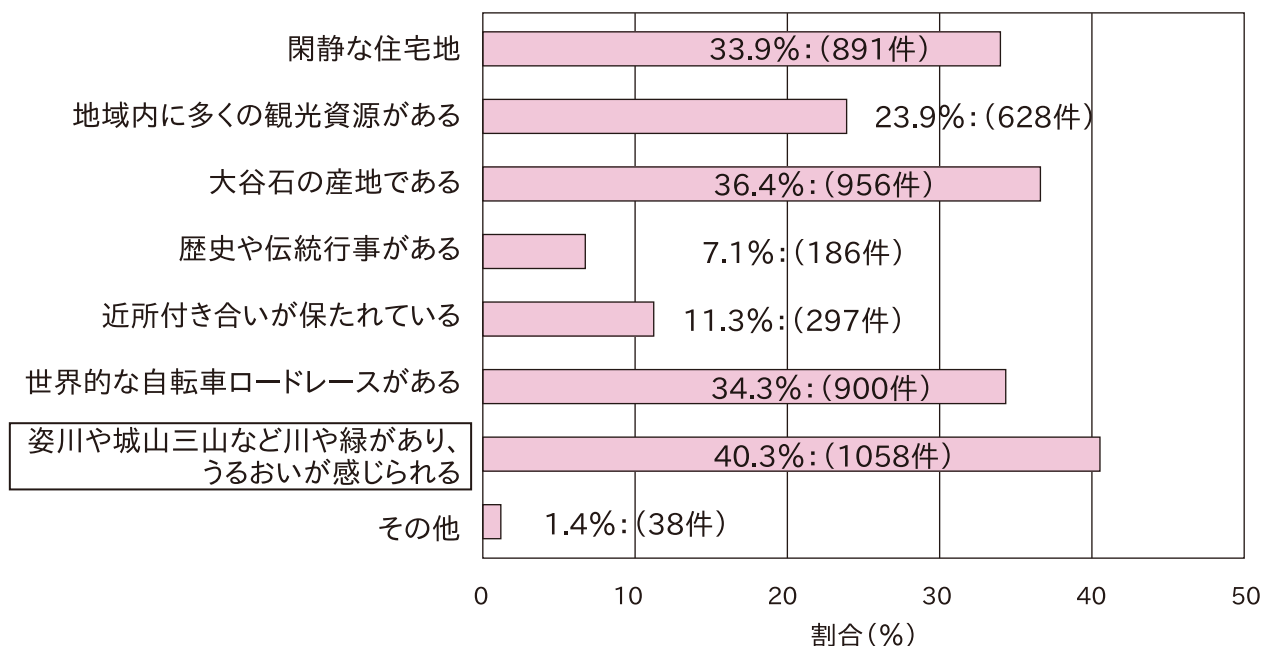


2 調査結果 (抜粋)

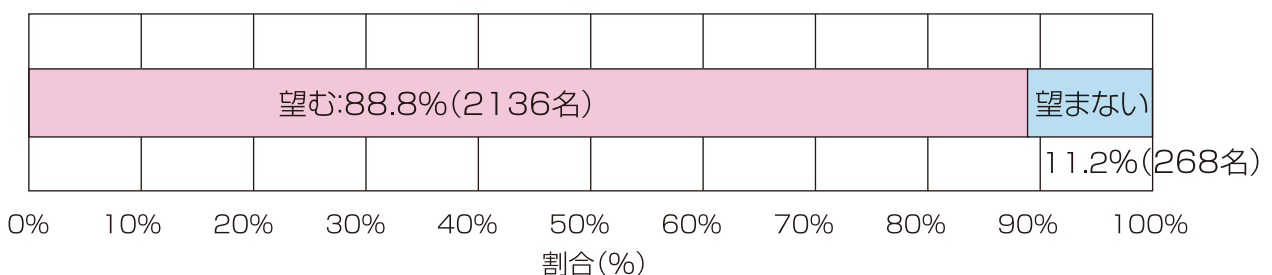
【問34】 現在、地域の課題だと思うことや、ご自身が不安に感じていることはありますか。
(複数回答可)



【問35】 城山地区の魅力は、何だと思えますか。(複数回答可)



【問13】 あなたの住む地域に、地域内交通の整備を望みますか。



地域ビジョン策定委員会の検討経過

	日 程	内 容
第1回	平成25年 8月21日	○委員会の設置 ○勉強会①「地域ビジョンとは」 講師：みんなでまちづくり課
第2回	平成25年 9月27日	○勉強会②先進事例に学ぶ～地域ビジョンをこうして作った～ 講師：宇都宮市まちづくり・ひとづくりアドバイザー 井上 好昭 氏
第3回	平成25年 10月30日	○勉強会③「城山について知ろう」 講師：うつのみや市政研究センター研究員 西山 弘泰氏〈博士（地理学）〉
第4回	平成25年 11月29日	○勉強会④「城山について語ろう」
第5回	平成25年 12月18日	○意見・課題の集約について ○作業部会について
第6回	平成26年 1月29日	○作業部会のメンバーの選出について ◆安心・安全・教育部会 ◆健康・福祉部会 ◆地域コミュニティ部会 ◆観光・地域産業部会 ○アンケート調査の実施について
第7回	平成26年 3月26日	○作業部会のメンバーの選出状況及び今後のスケジュールについて ○アンケート調査の集計について
第8回	平成26年 7月25日	○アンケート集計結果について ○作業部会からの中間報告について
第9回	平成26年 12月9日	○作業部会からの報告（あるべき姿、まちづくりの方向性等）について
第10回	平成27年 3月4日	○作業部会からの最終報告（前回からの変更点、重点事業候補）について ○作業部会素案の検討及び重点事業の選定について ○地域の目指すべき将来像の設定について ○実施体制について
第11回	平成27年 8月5日	○地域ビジョン最終決定について ○地域ビジョンの今後の進め方について

城山地域ビジョン策定実施要領

- 1 城山地区の将来あるべき姿の実現に向けた取組を検討するため、城山地域ビジョン策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。
- 2 委員会は、城山地区コミュニティ協議会が設置し、委員は各種団体から推薦された者並びに城山地区コミュニティ協議会が策定にあたり必要と認めた者（以下「策定委員」という。）で構成する。
- 3 委員会は、策定委員、特別委員で組織する。
- 4 委員会には委員長、副委員長2人を置く。
- 5 委員長は、城山地区コミュニティ協議会長を充てる。
- 6 副委員長は委員長が選任し、委員会で承認を得る。
- 7 委員長は、委員会の全体の運営・総括を行い、副委員長は、委員長の補佐、委員会の進行を行う。
- 8 委員会は、委員長が招集し、開催するものとする。
- 9 委員会に、具体的な事項を検討するための作業部会を置くことができる。
- 10 策定委員は、地域ビジョンの策定に当たり、次の業務を担う。
 - ① 地域の意見等の取りまとめ
 - ② 地域情報の委員会への提供
 - ③ その他目的達成のための必要な事項
- 11 策定委員は、地域ビジョンの策定に当たり、適宜連絡調整を行うとともに情報を共有し、円滑な業務遂行に努める。
- 12 委員会の庶務は、城山地区コミュニティ協議会事務局が行うものとする。
- 13 地域ビジョンの策定業務の進行状況等については、原則として公表するものとする。
- 14 その他委員会の運営に関して必要な事項は、委員会で協議のうえ、適宜定める。

附 則

- 1 本実施要領は、平成25年8月21日から適用する。

地域ビジョン策定委員会名簿

H25～

役 職	団 体 名 称	氏 名	役 職 名 等	参 考
委 員 長	コミュニティ協議会	池田 文男	会 長	H26.4.1～
	//	野崎 栄三	前 会 長	H25.4.1～H26.3.31
副委員長	連合自治会	阿部 操	会 長	H27.4.1～
	//	渡邊 文夫	前 会 長	H26.4.1～H27.3.31
	//	鈴木 澄男	元 会 長	H25.4.1～H26.3.31
副委員長	社会福祉協議会	阿部 操	会 長	連合自治会長兼務
	//	渡邊 文夫	前 会 長	
	//	三浦 国雄	元 会 長	H25.4.1～
副委員長	食生活改善推進委員会	細谷 タミ子	会 長	
委 員	青少年育成会	原 幸	会 長	H26.4.1～
	//	井上 五七子	前 会 長	H25.4.1～H26.3.31
委 員	体育協会	齋藤 晋弘	理 事 長	
委 員	防犯協会城山支部	小野口 勝仁	副 支 部 長	
委 員	子ども会連合会	臼居 茂樹	会 長	
委 員	老人クラブ連合会	上原喜 久治	副 会 長	
委 員	民生委員・児童委員協議会	長岡 伸	会 長	
委 員	活力あるむらづくり推進協議会	駒場 久	会 長	H27.4.1～
	//	阿部 栄人	前 副 会 長	H25.4.1～H27.3.31
委 員	婦人防火クラブ	小林 恵子	副 会 長	
委 員	交通安全協会城山支部	池田 福三	支 部 長	
委 員	総合開発推進協議会	大垣 忠義	副 会 長	
委 員	城山中学校地域協議会	大森 則男	会 長	
委 員	大谷石材協同組合	石下 光良	常 任 理 事	
委 員	コミュニティ協議会	阿部 久	広報部長	H26.4.1～
	//	広瀬 忠徳	前広報部長	H25.4.1～H26.3.31
委 員	//	永森 庄仁	文化部長	

役 職	団 体 名 称	氏 名	役 職 名 等	参 考
特別委員	宇都宮市議会議員	細谷 美夫		
特別委員	宇都宮市議会議員	渡辺 道仁		
特別委員	宇都宮市議会議員	山崎 昌子		
特別委員	城山地区市民センター	岡田 修一	所 長	H27.4.1～
	城山地区市民センター	横山 恭久	前 所 長	H25.4.1～H27.3.31

役 職	団 体 名 称	氏 名	役 職 名 等	参 考
事 務 局	コミュニティ協議会	小林 輝	事 務 局 長	H26.4.1～
	//	枝 俊男	前事務局長	H25.4.1～H26.3.31
	//	小原 良一	事務局次長	H26.4.1～
	//	丸目 盛之	//	
	//	渡辺 孝子	//	
	//	廣田 和子	//	
	//	石田 和男	前事務局次長	H25.4.1～H26.3.31

地域ビジョン策定委員会作業部会名簿

H25～

【安全・安心・教育部会】

役 職	氏 名	備 考
◎部 会 長	大 森 則 男	策定委員
部 会 員	北 條 誠 一	PTA 連絡協議会
//	廣 田 和 子	城山中 PTA
//	大 野 修 一	消防団城山分団
//	宇賀神 伸一郎	//
事務局員	小 原 良 一	

【健康・福祉部会】

役 職	氏 名	備 考
◎部 会 長	三 浦 国 雄	策定委員
部 会 員	長 岡 伸	民生委員
//	五十畑 周	地域包括支援センター
//	上 野 紀 子	元民生委員
//	杉 山 明 弘	元民生委員
//	黒 田 紀美子	福祉協力員
//	佐 藤 幸 子	//
事務局員	小 林 輝	

【地域コミュニティ部会】

役 職	氏 名	備 考
◎部 会 長	広 瀬 忠 徳	策定委員
部 会 員	阿 部 久	コミ協広報部
//	笹 原 定 一	//
//	安 達 高 志	ジョイスポしろやま
//	齋 藤 晋 弘	策定委員
事務局員	丸 目 盛 之	

【観光・地域産業部会】

役 職	氏 名	備 考
◎部 会 長	細 谷 夕 三 子	策定委員
部 会 員	野 尻 浩 之	農業者(梨)
//	渡 辺 邦 仁	農業者(花)
//	福 田 朋 美	大学生
//	横 松 陽 子	NPO 代表
//	大 垣 忠 義	策定委員
//	石 下 光 良	策定委員
//	宇賀神 敏 幸	鹿沼土生産者
//	枝 俊 男	元事務局長
事務局員	渡 辺 孝 子	



大谷石夢あかり

